

目的や効果の認識を共有していく。

(市長・こども課)

要望 無償化にあたっては、施設面や人的な受け皿についてしっかりと対応していただきたい。

◆新生児聴覚検査補助について

問 県内でも助成制度が始まったが本市の取り組みはどうか。

答 聴覚障がいへの早期発見と経済的負担の軽減を図るため、令和6年度からの実施を検討する。

(健康づくり課)

◆物価高騰対策について

問 市民が直面している物価高は今後の賃金上昇の傾向も踏まえると、物価が下がるとは思えないが市長の見込みはどうか。

答 政府は、賃金と物価の好循環を目指す観点から適正な範囲での物価上昇は望ましい姿であるとされている。本市としても、

まずは現在の物価高騰の局面において真に支援を必要とする市民へスピード感ある対策を講じ、生産性向上を伴う賃金の上昇が継続し、さらにサービスや製品等の供給面の高付加価値化による経済発展の好循環が軌道に乗った時こそ、物価高をめぐる社会経済情勢の着地点と考える。

(市長・財政課)



実質賃金上昇

◆榎川診療所について

問 運営状況が改善されないと存続は困難。住民の健康づくりと一体化した施設等の工夫をしないと、いつまでも一般会計から繰り入れていくことは認められないがどうか。

答 今年度の決算見込み

の一般会計からの繰り入れは2千万円を超える見込み。診療所の運営を維持しながら関係機関と協議し、収支バランスの改善に努める。また、オンライン診療などの導入についても研究していく。

(健康づくり課)

要望 住民福祉の拠点施設としての複合施設とするよう提案する。

◆お悔みコーナーの設置について

問 死亡時の手続きは煩雑で、親族の心労は大きい。届け出手続きや相談業務のワンストップサービスはできないか。

答 市役所で必要と思われる行政手続きをあらかじめ整理し、ワンストップで済む自治体が増えていく。本市でも庁内関係課で検討しており、令和6年度中の運用開始に向け準備している。

(市民課)

新政会
 質問者
 赤羽 誠治
 牧野 直樹
 持ち時間90分

オールフレイル対策で健康寿命日本一に!!

◆市長の政治姿勢

問 市内10地区のタウンミーティングで出された意見や要望等の状況と対応についてはどうか。

答 市内10地区で開催したタウンミーティングでは、第六次総合計画長期戦略と都市計画マスタープランの地区別構想策定に向けた地域ごとの課題や意見、要望等をいただいた。内容は高齢化や人口対策をはじめ、空き家対策、自治会役員の人手不足の解消、生活道路等の整備など多岐にわたった。

今後、令和6年度予算編成において事業内容を更に磨き上げコストの方

向性を定めて、一人ひとりの幸せの実現のため取り組んでいく。

(市長・企画課)

◆口の健康から健康寿命の延伸を目指す

問 近年、フレイルの段階に「オールフレイル」という状態があることが分かっている。噛む力や舌の機能の低下など歯科口腔機能の維持・向上は大変重要であり、より早い段階からの気づきが求められる。本市のオールフレイル対策の取り組み状況はどうか。



歯科口腔機能の維持・向上